

すくすく学級ふち

幼少期の思い出

僕が小さいころに弟と一緒にココアを作るときに利用する「ミロ」を粉のまま食べるのが好きで、親がいない時にこっそり食べていました。

ですがある日、僕たちはそのミロを家中にばら撒いてしまいました。それを仕事帰りに見た母は、もう怒りを通り越して、バカバカしくなり、その映像を撮っていました。たまに、その映像を見せられて赤面することも多々あります。



ママがいいよ(涙)

学級に参加して

親御さんは楽しそうに笑顔で参加していただけて嬉しかったです。お父さんがお一人いて、僕も親になったらちゃんと子育てしなくては、と思いました。

お子さんは、すごく活発的に遊んでいて元気がいいなと思いました。ですが、先週の託児もあってか、泣き出してしまいう子もしばしば…。

小さな子どもを見て、自分にもこんな時期があったのだなと感じました。

読み聞かせ

「イカになあれ」を読み聞かせしました。この話を選んだのは、作中に出てくるイカ同士の喧嘩をイカの国王が「イカーン」と止めるところが、面白いなと思い、選びました。

本番は本を動かしたり、声に強弱をつけたりしながらやりました。聞いていただいた皆さんが見守ってくれて、緊張しましたが何とかやりきることができました。

お互いに肩の揉み合い



わたしもやる！

全体を通して

自分のいろいろなイタズラ話がこんなところで役に立つとは思っていなかったもので、自分自身驚きました。

今回の体験で改めて自分が小さい子が好きなんだなということがわかりました。

僕の話をもて笑顔で聞いてくれたり、読み聞かせを温かな目で見守っていただき、ありがとうございました。楽しいひと時でした。



ただいま、公民館ロビーに掲示中！